

主管部局 健康福祉部 施策の目的 高齢者が住み慣れた地域のなかで、いつまでも自分らしく生き生きと暮らせるまちをつくる



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R5実績	R6実績	R7実績	単位	目指す方向
高齢者の人口	住民基本台帳人口（市民課） 翌年度4月1日時点	47,304	47,390	47,509	人	
生きがいを感じる高齢者の割合	「生きがいをもって元気に暮らしていると思いますか」における「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」の割合（まちづくり達成度アンケート）	81.1	80.0	84.1	%	
要介護・要支援認定率	65歳以上の要介護・要支援認定者数/第1号被保険者数（65歳以上）×100（介護支援課） 翌年度4月1日時点	19.4	20.2	21.2	%	

令和7年度の取組と改善点・評価 令和8年度の現状・課題・取組

<p>・取組内容 高齢者の社会的交流や生きがいの充実を図るため、新たな取り組みとして作成した「高齢者ふれあいの家ガイドブック」を活用し、活動内容を広く市民に周知するとともに、施設の継続運営や新規開設に向けた支援を行いました。また、令和7年度に拡充した「ひとり暮らし高齢者緊急通報装置（民間事業者対応方式）」および「難聴高齢者補聴器購入費助成制度」について、市ホームページや行政出前講座等を通じて周知を図り、必要な方への支援を実施しました。</p> <p>・改善した点 高齢者ふれあいの家等の「通いの場」において、実施主体との連携を強化し、新たに保健師等の専門職による定期的な訪問や健康講座を組み込むことで、介護予防事業との連動性を高めました。また、助成制度等の周知にあたっては、従来のホームページに加え、チラシの活用や出前講座での直接説明を積極的に行い、対象者へ情報が届きやすい体制を整えました。</p> <p>・評価 高齢者ふれあいの家ガイドブックを冊子とホームページの双方で公開し、市民が情報を得やすい環境を整えました。保健師等専門職の派遣による健康講座は、参加者の介護予防への関心を高める機会となりました。また、拡充した緊急通報装置や補聴器助成についても、積極的な周知により制度利用の促進を図り、高齢者の安全な生活維持や社会参加の支援につなげることができました。</p>	<p>・現状 高齢者ふれあいの家ガイドブックを冊子および市ホームページで公開し、取組内容を広く市民に周知しています。高齢者ふれあいの家等の通いの場では、介護予防事業と連携した支援を実施することで主催者との連携を深め、介護予防を推進しています。また、令和7年度に拡充した緊急通報装置（民間事業者対応方式）や難聴高齢者補聴器購入費助成については、ホームページや出前講座等を通じて周知を行っています。</p> <p>・課題 高齢者の在宅生活を支える緊急通報装置や加齢性難聴に対応する補聴器の購入について、将来的に必要と感じつつも、導入のきっかけがつかめない高齢者の不安を解消し、必要な情報を届けることが求められています。介護予防事業と連携することで、日常生活の不便を『加齢のせい』と諦めるのではなく、適切なツールを早期導入できるように、相談・周知体制を強化し、社会参加を継続できる環境を整え、重症化予防と生活の質の向上を図ることが必要です。</p> <p>・取組内容 令和7年度から拡充した「ひとり暮らし高齢者緊急通報装置（民間事業者対応方式）」や「難聴高齢者補聴器購入費助成」は、必要な方へ更なる周知を図るため、介護予防事業と連携した講座を行政出前講座に加え、あらゆる機会を捉え普及啓発を推進します。あわせて、高齢者向け保健・福祉サービスのガイドブックを作成・配布し、必要な情報を届けることで適切なサービス利用へつなげる支援を行います。</p>
---	---

多様な生きがいづくり

<p>高齢者団体が市が大型バスを貸出し、高齢者相互の親睦やレクリエーション活動等の支援を行うことで、健康で生きがいのある生活を促進します。</p>	<p>敬老バス支援事業</p>						
<p>担当課</p>	<p>R7当初予算</p>	<p>R7決算見込</p>	<p>R7職員給与費(目安)</p>	<p>R8当初予算</p>	<p>R8特定財源</p>	<p>R8一般財源</p>	
<p>高齢者支援課</p>	<p>10,790</p>	<p>8,578</p>	<p>1,980</p>	<p>10,126</p>	<p>0</p>	<p>10,126</p>	
<p>主な活動指標</p>	<p>R6実績</p>	<p>R7実績</p>	<p>R8目標(予定)</p>	<p>主な成果指標</p>	<p>R6実績</p>	<p>R7実績</p>	<p>R8目標</p>
<p>利用回数(回)</p>	<p>131</p>	<p>125</p>	<p>160</p>	<p>リポート率(%)</p>	<p>97</p>	<p>95</p>	<p>99</p>
<p>利用人数(人)</p>	<p>3,661</p>	<p>3,552</p>	<p>4,100</p>				
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組			
<p>・取組内容 敬老バスの事故やトラブルのないように利用条件や利用方法についての周知徹底を図り、安心安全な敬老バス事業の継続を図りました。</p> <p>・改善した点 利用団体の要望の多様化に対して、定められた利用条件の範囲内で適切かつ柔軟な対応をしました。</p> <p>・評価 バス利用の抽選会において改めて説明するなどした結果、利用団体はルールを守って利用しました。</p>	<p>・現状 高齢者相互の親睦やレクリエーション活動の支援として、健康で生きがいのある生活の促進に寄与しています。</p> <p>・課題 多様化する利用団体の要望に対して、決められた利用条件の範囲内で適切かつ柔軟な対応をする必要があります。</p> <p>・取組内容 事故やトラブルがないように利用団体に適切な利用を求め、安心安全な敬老バス事業の継続を図ります。</p>						

多様な生きがいづくり

<p>市内の空家等を利用し、閉じこもりがちな高齢者が自由に集まり、地域のこどもたちを含めた高齢者との交流や健康づくり、趣味活動ができる場所を提供していただける個人・団体等を支援します。</p>	<p>高齢者ふれあいの家支援事業</p>						
<p>担当課</p>	<p>R7当初予算</p>	<p>R7決算見込</p>	<p>R7職員給与費(目安)</p>	<p>R8当初予算</p>	<p>R8特定財源</p>	<p>R8一般財源</p>	
<p>高齢者支援課</p>	<p>7,047</p>	<p>6,741</p>	<p>2,639</p>	<p>7,232</p>	<p>5,966</p>	<p>1,266</p>	
<p>主な活動指標</p>	<p>R6実績</p>	<p>R7実績</p>	<p>R8目標(予定)</p>	<p>主な成果指標</p>	<p>R6実績</p>	<p>R7実績</p>	<p>R8目標</p>
<p>年間開催総数(回)</p>	<p>5,716</p>	<p>5,881</p>	<p>5,900</p>	<p>年間利用者総数(人)</p>	<p>72,434</p>	<p>74,582</p>	<p>73,000</p>
<p>市内設置場所(か所)</p>	<p>33</p>	<p>36</p>	<p>38</p>				
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組			
<p>・取組内容 高齢者ふれあいの家ガイドブックを活用し、事業の周知及び利用者の増加を図ったほか、開設者及び開設希望者への支援に努めました。</p> <p>・改善した点 開設者の高齢化により、活動の担い手が不足している高齢者ふれあいの家が多いため、周知活動を通じてスタッフの確保を支援しました。</p> <p>・評価 高齢者ふれあいの家開設についての周知や支援の結果、3件の開設に繋がりました。</p>	<p>・現状 高齢者ふれあいの家の開設者への支援を通じて、市内の高齢者に通いの場を提供しています。誰もが徒歩圏内で利用できる体制を整備するため、増設に努めています。</p> <p>・課題 開設者やスタッフの高齢化により、活動の担い手が不足している施設が増加傾向にあります。既存の高齢者ふれあいの家の運営継続や、新規開設に向けた継続的な支援が課題となっています。</p> <p>・取組内容 高齢者ふれあいの家ガイドブックを活用し、事業の周知と利用者の増加を図るほか、開設者や開設希望者に対する支援に努めます。</p>						

多様な生きがいづくり

高齢者の交通機関利用支援事業	高齢者の外出機会の拡充と高齢者福祉の向上を図るために、流山ぐりんバスの乗車運賃の割引を行います。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
高齢者支援課	17,495		17,935		660	16,135	0	16,135
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
高齢者割引利用者数(人)	197,200	219,200	225,000	高齢者の利用率(%) (高齢者/総利用者数)		21.75	23.67	24.00
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 利用者増加に向けた新たな取り組みとして、市民まつりへの出展や車内ぬいえ展示のほか、20周年記念イベントとして運賃無料デーを実施しました。				・現状 運行継続に向け収支率を注視するとともに、需要確保策の検討に努めています。				
・改善した点 利用者増加に向けたソフト面での需要確保策を検討・実施しました。				・課題 運行経費の上昇に対応する安定的な収入を確保するため、引き続き需要確保策の検討が必要です。				
・評価 減便による運賃収入の減少がありながらも利用者数は増加し、全6ルートにおいて運行継続基準である収支率55%以上を維持することができました。				・取組内容 毎月の収支率を注視し、運行継続基準を満たすような需要確保策を検討します。				

地域ぐるみ支え合い体制づくり

在宅高齢者介護予防・生活支援事業	公共交通機関の利用が困難な非課税世帯の単身高齢者を対象に、自宅の玄関から病院等の利用施設まで移動及び乗降の介助を支援します。その他、理美容店へ出向くことが困難な高齢者に対して、訪問による理美容サービスに係る費用の助成や、加齢により耳が遠くなり日常生活に不便を感じている高齢者に対して補聴器の購入費の一部を助成します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
高齢者支援課	15,553		13,786		2,639	15,022	0	15,022
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
訪問理美容サービス利用回数(回)	75	107	100	訪問理美容サービス新規利用者(人)		32	25	40
外出支援サービス利用回数(回)	4,087	3,924	4,300	外出支援サービス新規利用者(人)		42	51	55
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 外出支援サービスの利用料を納入通知書による市への支払いから、事業者への直接支払方式に変更しました。あわせて、運転ボランティアの募集を引き続き関係課や関係機関と連携して実施したほか、難聴高齢者補聴器購入費用助成について広報やチラシ、市ホームページ等により周知を行いました。				・現状 公共交通機関の利用が困難な方への外出支援、訪問理美容サービス、補聴器購入費用の一部助成を通じ、自立した生活の支援や在宅生活の質の向上を図っています。				
・改善した点 外出支援サービス利用者から、金融機関での支払いは困難であるという意見があったため、納入通知書によらない支払方法への変更を行いました。				・課題 令和7年度に開始した補聴器購入費用助成事業について、利用状況の把握や効果の検証を行うていく必要があります。				
・評価 新規の運転ボランティアを獲得した一方で、活動中の運転ボランティアが高齢等を理由に活動を終了する現状もあり、十分な人数の確保には至りませんでした。				・取組内容 補聴器購入費用の助成対象者に対し、アンケート調査を実施することで事業効果の検証を図ります。				

地域ぐるみ支え合い体制づくり

ひとり暮らし高齢者緊急通報装置給付事業	ひとり暮らし高齢者等の緊急時の連絡手段を確保するため、消防署が対応する緊急通報装置の給付や民間事業者が対応する緊急通報装置の貸与を行います。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
高齢者支援課	2,506		1,963		2,639	1,862	255	1,607
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
延べ設置数(台)	121	101	150	救急車出動数(回)		10	8	-
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 2つの緊急通報システムについて、市ホームページや広報などでサービス開始の周知を図りました。				・現状 人感センサーなど多機能を有する民間事業者対応方式と消防署対応方式の2種類の緊急通報システムを展開し、ひとり暮らしの高齢者の緊急時における連絡手段の確保を図っています。				
・改善した点 新たに開始した民間事業者による緊急通報システムについて、既存の消防署対応型との違いを市民や関係機関へ周知し、適切な利用を促しました。				・課題 2種類の緊急通報システムを展開しているため、利用者が自身の状況に適したシステムを選択できるよう、周知を継続する必要があります。				
・評価 市ホームページや広報での周知に加え、行政出前講座を通じた直接的な周知も実施したことで、事業への理解と浸透を図りました。				・取組内容 市ホームページや広報等を通じて、2種類のシステムの違いを含めた周知を行い、適切なサービス選択を支援します。				

地域ぐるみ支え合い体制づくり

在宅医療介護連携推進事業	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるよう在宅医療と介護を一体的に提供するために、医療機関と介護事業所等の関係者の連携を推進します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
介護支援課	11,448		6,489		19,791	12,701	12,701	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
介護と医療をつむぐ会開催回数(回)	4	4	4	情報共有システムを利用した在宅療養者数(延べ)(人)		62	87	90
出前講座開催回数(回)	5	6	5					
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> <p>「在宅医療介護連携会議」及び「介護と医療をつむぐ会」にて、現状把握や多職種の連携体制づくりを図りました。市民が在宅療養や人生会議(ACP)への理解を深めるため、市民公開講座や出前講座を開催しました。市民公開講座の内容も含めた「おうち療養情報紙」を発行し、幅広い世代への普及・啓発を図りました。</p> <p>・改善した点</p> <p>「在宅医療介護連携会議」及び「介護と医療をつむぐ会」にて、現状把握や多職種の連携体制づくりを図りました。市民が在宅療養や人生会議(ACP)への理解を深めるため、市民公開講座や出前講座を開催しました。市民公開講座の内容も含めた「おうち療養情報紙」を発行し、幅広い世代への普及・啓発を図りました。</p> <p>・評価</p> <p>「在宅医療介護連携会議」では、主に災害時の対応について議論を深め、地域BCPを策定するとともに、要配慮高齢者に関する医療・介護職の連携体制構築を進めました。市民公開講座や出前講座を開催することで、在宅療養や人生会議(ACP)の理解促進を図りました。</p>				<p>・現状</p> <p>「在宅医療介護連携会議」で多職種の連携体制の構築について協議するほか、「介護と医療をつむぐ会」で専門職の質の向上や「顔の見える関係づくり」を進めています。在宅療養や人生会議(ACP)の普及啓発のため、市民に向けたイベントの開催や情報発信を行っています。</p> <p>・課題</p> <p>医療・介護職でのスムーズな連携及び災害時の安否情報確認のために、情報共有システムのさらなる活用推進を行う必要があります。人生会議(ACP)を知らない市民や、抵抗感を持っている市民が多いことから、より多くの市民に向けた周知及び理解促進に関する活動を行う必要があります。</p> <p>・取組内容</p> <p>多職種の連携体制構築のため、「在宅医療介護連携会議」と「介護と医療をつむぐ会」を開催するほか、利用者の意思決定や看取りに関する研修会等を開催し、専門職の質の向上を図ります。在宅療養や人生会議(ACP)については、市民公開講座及び出前講座等で普及啓発を行うとともに、より多くの市民に情報を届けられるよう、周知方法を工夫していきます。</p>				

地域ぐるみ支え合い体制づくり

地域包括支援センター委託事業	介護保険の被保険者が要介護状態となることを予防するため、心身の状況や環境等に応じ、包括的な援助や福祉の増進を図るための包括的支援事業を実施し、地域住民の健康の維持及び生活の安定のための援助を行う、高齢者なんでも相談室(地域包括支援センター)の設置・運営を委託します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
高齢者支援課	208,602		205,156		17,715	215,002	173,612	41,390
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
相談件数(件)	20,880	21,318	21,446	センター事業評価(運営状況調査)の達成度(全センター平均)(%)		-	99	100
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> <p>高齢者人口の増加や複雑・困難化する事例への対応するため、生きづらさ包括支援事業と連携を図るとともに、担当する高齢者人口が多い中部、東部、南部の高齢者なんでも相談室の職員を各1名増員しました。また、職員のスキルアップを目的に、複合的な困難ケースの対応方法等に関する研修を実施しました。</p> <p>・改善した点</p> <p>高齢者人口の増加に伴う業務量の増大や、相談室に求められる役割の拡大に的確に対応するため、適正な職員数の確保と研修等によるスキルアップを図りました。</p> <p>・評価</p> <p>生きづらさ包括支援事業と連携により、複雑・困難な事例に対して多職種・他機関で連携して対応する体制が構築できました。また、担当する高齢者人口が多い中部、東部、南部の高齢者なんでも相談室の職員を各1名増員したことで相談支援体制の強化が図れました。</p>				<p>・現状</p> <p>市内5か所の高齢者なんでも相談室において、保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャー等の専門職が相談支援を行っています。近年、高齢者人口や独居高齢者の増加に伴い、複雑・困難化する事例が増加傾向にあります。</p> <p>・課題</p> <p>複雑・困難化する事例に対し、さらなる多職種・他機関との連携強化、および対応能力の向上が求められています。</p> <p>・取組内容</p> <p>高齢者人口の増加や複雑・困難化する事例に対応するため、引き続き生きづらさ包括支援事業と連携を図り、適切な支援を行います。また、研修会等の実施により職員のスキルアップを図ります。</p>				

地域ぐるみ支え合い体制づくり

成年後見申立事業	成年後見制度が必要な高齢者であって、親族がいない等の理由により申立てを行うことが困難な場合に、市長が申立てを行い制度の利用に繋がります。また、成年後見制度を利用している方のうち、成年後見人等への報酬を支払うことが困難な方に対して報酬費用の一部または全部を助成することで制度の利用促進を図ります。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
高齢者支援課	9,919		8,573		9,896	10,477	10,477	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
地域包括支援センターにおける成年後見制度等相談件数(件)	220	353	400	市長申立て件数(件)		12	24	26
成年後見推進センターにおける成年後見制度等相談件数(件)	731	1,365	1,400	成年後見人等報酬助成件数(件)		26	38	42
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> <p>市長申立てや報酬助成制度の普及を図るため、各種会議等を通じて関係機関への周知に努めました。</p> <p>・改善した点</p> <p>関係機関との連携体制を強化し、市長申立てを適正に実施したほか、報酬助成の周知を市ホームページや会議等で図ったことで、支援実績の増加に繋がりました。</p> <p>・評価</p> <p>関係機関との連携により、支援が必要な方を着実に市長申立てへつなげることができました。また、市ホームページや会議を通じた周知により、制度の理解が進み、成年後見人等報酬助成の件数増加に結びつきました。</p>				<p>・現状</p> <p>本人の支援にあたる関係者や医療機関等からの相談を受け、成年後見制度の利用が必要でありながら申立てが困難な方に対し、市長申立てを実施しています。あわせて、成年後見人等報酬助成により、制度利用に伴う金銭的負担の軽減を図っています。</p> <p>・課題</p> <p>民法改正に伴う成年後見制度の見直しを注視し、制度改正への適切な対応を図る必要があります。</p> <p>・取組内容</p> <p>成年後見制度利用促進基本計画の改定及び制度改正に適切に対応し、支援者や関係機関等への周知を図ります。また、利用者が制度の利点を実感できる仕組み作りを推進します。</p>				

介護体制づくり

介護人材確保支援事業	介護人材確保を目的として国、県の介護人材確保対策事業と連携しながら市内の介護保険施設、事業所の就業者の確保を目的とした事業を実施します。また、市単独事業として、市内介護保険サービス事業所に勤務する介護支援専門員や介護職員等の処遇改善事業と介護福祉士の資格を取得して市内の介護施設等に勤務しようとする介護福祉士等の養成施設等の在学者へ修学資金の貸し付け事業を行います。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
介護支援課	122,730		114,397		13,194	133,635	133,635	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
理解促進講座開催回数(回)	1	1	1	介護職員養成研修受講費助成件数(件)		18	16	32
				流山市介護職員処遇改善事業補助対象者人数(人)		1,116	1,130	1,180
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 市民に質の高い介護サービスを提供することを目的に、市独自の介護職員等への処遇改善、介護職員養成研修費用の助成、就職相談会等を実施し、市内の介護保険サービス事業所への人材確保と定着支援を図りました。				・現状 団塊ジュニア世代が高齢者となる2040年に向けて介護需要はますます高まる一方、介護職員等のさらなる不足が見込まれています。				
・改善した点 処遇改善や養成研修の受講費助成等、本市で実施している介護職員への支援策をまとめたチラシを作成し、周知を図りました。職員の定着支援のため、カスタマーハラスメントに関する取組として、複数人訪問費用やハラスメント対策機器導入費用の補助制度を創設しました。				・課題 介護人材の確保及び定着を支援し、市民に質の高いサービスを提供できる体制を構築していく必要があります。				
・評価 処遇改善等に対する処遇改善事業補助金は、前年度よりも申請件数が増加しています。また、申請手続を簡略化し、事業所職員の負担軽減を図りました。求職者と介護事業所のマッチングの場として就職相談会を実施し、市内の介護事業所の人材確保につなげました。				・取組内容 就職相談会を実施して市内介護保険サービス事業所の人材確保を支援するほか、介護職員等への処遇改善や研修受講時の費用助成を引き続き行い、職員の定着及びキャリアアップ支援を図ります。				

介護体制づくり

特別養護老人ホーム整備支援事業	特別養護老人ホームの入所待機者の解消に向け、高齢者支援計画に基づいて計画的に施設整備を進めます。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
介護支援課	0		0		3,299	0	0	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
市内特別養護老人ホームの施設数(施設)	13	13	13	特別養護老人ホーム入所希望待機者数(人)		278	247	283
市内特別養護老人ホームの入所定員数(人)	1,146	1,146	1,146					
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 令和9年4月の新規開設(100床)を目指して、事業者の社会福祉法人敬愛会への必要な支援を行いました。				・現状 令和9年4月の新規開設(100床)を目指して、事業者による整備工事を進めてまいります。入所待機者は、令和8年1月現在247人となっています。				
・改善した点 県や社会福祉法人と連携を図り、施設整備を着実に進めました。				・課題 必要な整備数の見込みを立てるために、入所待機者の実態や市民のニーズを適切に把握する必要があります。				
・評価 令和9年4月新規開設(100床)に向けて、社会福祉法人敬愛会による整備工事に着手しました。また、第10期高齢者支援計画策定にあたり、事業者アンケートや高齢者実態調査等を行いました。				・取組内容 令和9年4月の新規開設(100床)に向けて、事業者の社会福祉法人敬愛会への必要な支援を行います。また、事業者アンケートや高齢者実態調査等の分析を進め、施設整備の必要性について検討します。				

介護体制づくり

高齢者介護予防普及啓発事業	介護予防に向けた取り組みが主体的に実施されるような地域社会の構築を目指して、介護予防教室を実施します。また、知識の普及啓発を目指し、パンフレットの作成、配布を行います。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
高齢者支援課	5,422		4,933		8,577	5,628	5,628	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
介護予防教室開催回数(回)	21	21	21	介護予防教室参加延べ人数(人)		483	352	420
				ながいき100歳体操グループ数(グループ)		73	81	93
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 多くの高齢者が主体的に介護予防に取り組めるよう、筋力アップ教室の周知や「ながいき100歳体操」の活動グループ拡大に向けた普及啓発を実施しました。あわせて「しゃきしゃき100歳体操」と「かみかみ100歳体操」の動画を活用した周知にも努めました。				・現状 「ながいき100歳体操」の普及啓発として、介護予防に資する「筋力アップ教室」を計画的に実施しています。				
・改善した点 さらに多くの高齢者が介護予防に取り組めるよう、筋力アップ教室等の周知を継続していく必要があります。動画の活用や専門職等による「しゃきしゃき100歳体操」と「かみかみ100歳体操」の直接指導を実施したことで、体操を体験する機会が広がり、その効果を実感していただくことができました。				・課題 多くの高齢者が介護予防に取り組めるよう、筋力アップ教室の周知や「ながいき100歳体操」の活動グループ増加に向けた普及啓発を推進する必要があります。あわせて、グループ立ち上げ時の負担を軽減するための支援を継続していく必要があります。				
・評価 「ながいき100歳体操」の活動グループは、令和7年度に新たに8グループが立ち上がるなど、地域での活動が活性化しました。				・取組内容 多くの高齢者が主体的に介護予防に取り組めるよう、筋力アップ教室の周知や「ながいき100歳体操」の活動グループ拡大に向けた普及啓発を推進します。あわせて「しゃきしゃき100歳体操」と「かみかみ100歳体操」の普及啓発に取り組めます。				

介護体制づくり

認知症施策推進事業		認知症に関する知識の普及及び啓発を行います。また、認知症の疑いのある方や認知症の方等へ早期に対応できるよう相談支援体制の構築を図ります。					
担当課	R7当初予算	R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
介護支援課	2,024	1,246		19,791	2,574	2,574	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標	R6実績	R7実績	R8目標
認知症サポーター養成講座開催数(回)	23	23	25	認知症サポーター養成数(人)	1,080	946	1,300
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組			
<p>・取組内容 地域づくりでは、9月の「認知症月間」に、講演会やVR認知症体験会等を開催し正しい知識や新しい認知症観の普及啓発を行いました。また、認知症の方や家族を支援するチームオレンジの設置を目指して関係団体と協議を行いました。認知症当事者の声を聞く場として、認知症の方と家族が参加できるイベント等を実施しました。</p>				<p>・現状 認知症基本計画に基づく「新しい認知症観」及び認知症に関する正しい知識については、市民に広く普及しているとは言えません。また、認知症当事者は社会参加の機会が少なく、当事者の声を聞く場も少ない現状があります。</p>			
<p>・改善した点 認知症の人と共に生きる地域づくりの一環として、市内で従事する人に向けて認知症サポーター養成講座や認知症体験会を実施し、認知症の人の考え方や、見えている世界に対する理解を深めていただきました。当事者の声を聞く機会として、認知症の人とその家族が地域との交流を深めることを目的とした「オレンジ交流会」を市内4圏域で実施しました。</p>				<p>・課題 「新しい認知症観」とともに、認知症に関する正しい知識を市民に浸透させる必要があります。認知症の人は単なる「支える対象」ではなく、ともに地域を作っていく一員であることを、市民に理解してもらう必要があります。</p>			
<p>・評価 認知症に関する講演会を開催したほか、市民及び市内で従事する人を対象に、商業施設や企業等でVR機器を活用した認知症体験会を開催し、認知症に関する普及啓発に努めました。関係団体との協議を重ね、令和8年度にチームオレンジを1団体設置することにつながりました。</p>				<p>・取組内容 認知症講演会や体験会等を実施し、「新しい認知症観」や認知症に関する正しい知識の普及啓発を行います。チームオレンジの立上げ及び活動について支援していきます。認知症地域支援推進員と連携を図ることで当事者の声を聞く機会を増やすとともに、当事者の声を反映した「流山市認知症施策推進計画」の策定に取り組みます。</p>			

主管部局 健康福祉部 施策の目的 障害者等が、地域や家庭のなかで、自分らしく自立した生活を送ることができるまちをつくる



Table with 6 columns: まちの状態指標, 指標の説明または出典元, R5実績, R6実績, R7実績, 単位, 目指す方向. Rows include data for '障害のある方が各種支援を受けるために必要な手帳の所持者数', '障害者就労支援センターの利用者数', and '相談支援事業の利用者数'.

Table with 2 columns: 令和7年度の取組と改善点・評価, 令和8年度の現状・課題・取組. Rows include sections for '取組内容', '改善した点', and '評価'.

障害福祉サービスの充実

Table for '障害者自立支援給付事業'. Includes a description of the service and a detailed financial table with columns for '担当課', 'R7当初予算', 'R7決算見込', 'R7職員給与費(目安)', 'R8当初予算', 'R8特定財源', and 'R8一般財源'.

Table with 2 columns: 令和7年度の取組と改善点・評価, 令和8年度の現状・課題・取組. Rows include sections for '取組内容', '改善した点', and '評価'.

障害福祉サービスの充実

Table for 'つばさ学園療育相談事業'. Includes a description of the service and a detailed financial table with columns for '担当課', 'R7当初予算', 'R7決算見込', 'R7職員給与費(目安)', 'R8当初予算', 'R8特定財源', and 'R8一般財源'.

Table with 2 columns: 令和7年度の取組と改善点・評価, 令和8年度の現状・課題・取組. Rows include sections for '取組内容', '改善した点', and '評価'.

Table with 2 columns: 令和7年度の取組と改善点・評価, 令和8年度の現状・課題・取組. Rows include sections for '取組内容', '改善した点', and '評価'.

障害福祉サービスの充実

障害児通所支援事業	児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援等のサービスを行う民間施設及びつばさ学園に対して、障害児福祉サービスに係る給付を行います。また、すべてのサービス利用者に障害児相談支援を行います。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
障害者支援課	2,508,563		2,715,457		11,875	2,770,049	2,076,939	693,110
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
障害児通所支援支給決定者(人)	1,691	1,971	1,950	障害児通所支援事業所利用者(人)		19,705	23,441	25,650
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> 計画作成ができる事業所の新規開設や相談支援専門員の新規雇用を支援し、セルフプラン率の改善を目指しました。				<p>・現状</p> 人口の増加に加え制度の認知度向上により、利用児童数が大幅に増加しています。				
<p>・改善した点</p> 計画相談事業所の新設などもあり、セルフプラン率はやや減少しました。				<p>・課題</p> 特に放課後等デイサービスにおいて、児童数の増加により希望する日数の支援が受けられない児童が生じています。				
<p>・評価</p> 利用児童の増加が著しく、セルフプラン率の大幅な改善には至りませんでした。また、希望する日数の支援が受けられないなどの新たな課題も出てきています。				<p>・取組内容</p> 現在、通所の必要性の確認は初回のみとなっていますが、再度の確認の必要性について検討します。				

障害福祉サービスの充実

障害者グループホーム等運営費補助事業	小規模なグループホームの運営費の一部を助成し、経営の安定化を図り、入居者の自立と社会参加の促進を図ります。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
障害者支援課	16,043		21,787		1,320	16,043	8,021	8,022
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
補助件数(件)	37	40	35	対象施設への入居者数(人)		151	159	160
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> 正確な情報の元、引き続き適切な補助執行に努めました。				<p>・現状</p> グループホーム利用者は増加傾向が続いています。				
<p>・改善した点</p> 引き続き利用者の入退去状況や利用する事業者の正確な把握に努めました。				<p>・課題</p> 引き続き利用者の入退去状況や利用する事業者の正確な把握が必要です。				
<p>・評価</p> 請求情報を基に利用者の入退去状況や事業者の請求状況を把握しました。				<p>・取組内容</p> 正確な情報の元、引き続き適切な補助執行に努めます。				

障害福祉サービスの充実

障害児者福祉施設整備費補助事業	人口増加に伴い、障害児者の人数も増加しており、障害特性に応じた障害福祉サービス(児童福祉サービス)の提供体制を整備していく必要があることから、事業者が流山市で開設する動機付けとして補助金を用意するものです。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
障害者支援課	60,000		87,949		3,299	0	0	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
補助額(千円)	-	50,948	-	施設数(件)		-	2	-
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容</p> 障害福祉サービス事業所の開設に要する経費に対して補助金を交付しました。				<p>・現状</p> 補助金による施設整備の予定はありません。				
<p>・改善した点</p> 早期の親子支援を行う事業所と医療的ケア児及び重症心身障害児に対応する事業所に対して開設準備費等を補助し、障害福祉サービスの提供体制の強化に着手しました。				<p>・課題</p> 引き続き、障害児数及び障害福祉サービスのニーズの把握に努める必要があります。				
<p>・評価</p> 早期の親子支援を行う事業所が1か所、医療的ケア児及び重症心身障害児に対しての事業所が1か所の計2か所が開所予定です。				<p>・取組内容</p> 補助金による施設整備の予定はありません。				

障害福祉サービスの充実

つばさ学園施設整備事業	つばさ学園を利用する園児の事故防止や施設の老朽化に伴う整備、国の制度改正や方針により必要とされる施設整備を行うものです。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
児童発達支援センター	716		2,123		3,543	4,002	4,002	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
工事進捗率(%)	-	100	100					
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 安心安全な療育を提供するため、つばさ学園施設内において、見守りカメラを教室に4台及びプレイルームに1台設置しました。				・現状 つばさ学園では、ケアニーズの高いこどもの利用ニーズが高まっていることから、令和7年度より医療的ケア児や未歩行児等、こどもの状態や発達段階に合わせた支援体制を強化しています。				
・改善した点 多様な障害のあるこどもが、安心安全に利用することができるような環境を改善していく課題を解決するため、見守りカメラを設置しながらも、こどもの人権に配慮して、着替えやおむつ交換用等のパーテーションを用意しました。				・課題 医療的ケア児の支援を行うにあたって重要になるのが感染予防と快適なケアを実施できる環境の設定であるため、清潔かつ安全への配慮ができた適切な環境を整備する必要があります。				
・評価 見守りカメラの設置により、園内でのケガやトラブルの発生時には、動画で詳細な状況を把握し、支援のふり返りをすることで、こどもが安心安全に利用できる環境が整備されました。				・取組内容 老朽化している医務室を改修し、経鼻経管栄養や吸引等の医療的ケアに適した環境整備を行います。また、医療的ケア児の指導室とプレイルームの活動が安全に行えるよう、区画を分けるためのベビーゲートを設置します。更に、トイレ横のシャワー室に設置してある大きな浴槽を改修し、おむつ替えや体を清潔に保つためのスペースを確保します。				

障害福祉サービスの充実

児童デイつばさ施設整備事業	事故防止や施設の老朽化に伴う整備、国の制度改正や方針により必要とされる施設整備を行います。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
児童発達支援センター	285		285		3,543	1,955	1,955	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
工事進捗率(%)	-	100	100					
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 安心安全な療育を提供するため、児童デイ施設内において、見守りカメラを教室に2台及びプレイルームに1台設置しました。				・現状 児童デイつばさでは、早期発見早期療育の観点から、令和7年度より3歳未満児の単独登園及び親子クラスを編成し、発達の気になる段階から就学前までの全年齢のこどもの受け入れを実施しています。				
・改善した点 多様な障害のあるこどもが、安心安全に利用することができるような環境を改善していく課題を解決するため、見守りカメラを設置しながらも、こどもの人権に配慮して、着替えやおむつ交換用等のパーテーションを用意しました。				・課題 3歳未満児の支援にあたり、児童デイつばさには調乳を行うための流しシンクがなく、手洗い場で代用している現状であり、支障が生じています。				
・評価 見守りカメラの設置により、園内でのケガやトラブルの発生時には、動画で詳細な状況を把握し、支援のふり返りをすることで、こどもが安心安全に利用できる環境が整備されました。				・取組内容 事業所内の事務所として使用していた部屋を調乳室に改修し、流し台を設置します。				

自立と社会参加の促進

障害者地域生活支援事業	障害者等が地域で自立した生活を送るための相談支援、手話等による意思疎通支援、日常生活用具の給付、訪問入浴サービス、地域活動支援センター等による支援を行います。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
障害者支援課	138,513		103,412		7,917	144,248	49,101	95,147
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
委託相談員の人数(人)	11	11	11	相談支援を利用している障害者の人数(人)		3,242	3,818	3,800
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 前年度抽出した改善点を解消するための具体的な制度改正に向け、詳細な制度設計を進めました。				・現状 障害者、複雑化した課題を抱える世帯の増加傾向が続いています。				
・改善した点 同居家族の負担軽減のため、制度改正を検討しましたが、実現に至りませんでした。				・課題 同居家族の負担が増大しており、その軽減が引き続き課題となっています。				
・評価 在宅の医療的ケア児等の家族の負担を軽減するため、在宅レスパイト事業について制度設計を進め、負担軽減するための取組みについて整備を進めました。				・取組内容 改善点を解消するための具体的な制度改正に向け、引き続き制度設計を進めます。				

自立と社会参加の促進

障害者就労支援センター運営事業	就労支援事業として、障害者の働く場の確保と一般企業への就労につなげるため、市役所内に障害に配慮した職場環境を整えたチャレンジドオフィスながれやまを開設しました。そこで、障害がある方を会計年度任用職員として一定期間雇用することで実際の職務経験を通じて就労のスキル向上を図り、一般企業等への就職を目指します。							
	担当課	R7当初予算		R7決算見込	R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
障害者支援課	25,395		21,481	32,985	34,921	0	34,921	
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
チャレンジドオフィススタッフ在籍者数(人)	-	6	6	チャレンジドオフィススタッフの一般企業への就職者数(人)		-	1	2
庁内業務受注数(件)	-	390	433					
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容 受注業務内容の種別を広げ、障害特性や個々の能力に応じた業務に従事できるよう図りました。同時に、障害者就労支援に携わっている専門の職員がチャレンジドオフィススタッフへ定期面談等を行い、安定して働けるよう支援しました。</p>				<p>・現状 障害のあるスタッフ6名及び就労支援員3名により、庁内各課から依頼される業務を実施します。日々の業務経験を通じて、就労しきるの向上を図るとともに、一般企業への就職を目指します。</p>				
<p>・改善した点 障害や疾病等の理由からすく就職が難しい障害がある方(チャレンジドオフィススタッフ)が、庁内での業務経験を通して、ステップアップへの自信をつける機会となるように、就労サポートをする必要がありました。</p>				<p>・課題 業務量については年間を通じて時期による増減が見られ、安定した業務提供体制の確保が課題です。また、障害特性や個々の能力に応じた業務配置をより推進するため、従事可能な業務種別の拡大を図る必要があります。</p>				
<p>・評価 個々の障害特性に応じた業務配置を行うとともに、継続的な面談支援を通じ、安定して働ける環境を整えました。これにより、1名が一般就労企業への就職にステップアップしました。</p>				<p>・取組内容 業務量の平準化及び業務種別の拡大を図るため、各スタッフの能力、習熟度及び障害特性を整理した評価一覧表を作成するとともに、従事可能な業務例を示した資料を整備することで、庁内からの業務依頼の促進を図ります。</p>				

自立と社会参加の促進

障害者成年後見申立事業	成年後見制度が必要な知的障害者または精神障害者で、親族がない等の理由により申立てを行うことが困難な場合に市長が申立てを行い、制度の利用に繋がります。また、成年後見制度を利用している方のうち、成年後見人等への報酬を支払うことが困難な方に対して報酬費用を助成することで制度の利用促進を図ります。							
	担当課	R7当初予算		R7決算見込	R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
障害者支援課	4,616		2,659	660	3,966	1,627	2,339	
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
市長申立件数(件)	3	1	5	報酬助成の金額(円)		2,789,000	2,627,000	4,080,000
報酬助成申請件数(件)	12	10	17					
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容 市ホームページの記載について見直しを行いました。</p>				<p>・現状 支援者との連携により、成年後見制度が必要な障害者に対し、市長申立てにより手続きを進めています。また、経済的な負担の軽減のため成年後見人への報酬助成を引き続き行います。</p>				
<p>・改善した点 市ホームページの見直しのほか、市広報への掲載を行い、制度の周知方法を増やしました。</p>				<p>・課題 市長申立て以外の後見人への報酬助成を含め、制度の周知が課題となっています。</p>				
<p>・評価 市長申立て以外の後見人への報酬助成については増加したものの、全体的な助成件数は目標を下回りました。</p>				<p>・取組内容 制度の周知方法について検討します。</p>				

主管部局 健康福祉部 施策の目的 自助・共助・公助の役割分担のもと地域の“チカラ”を高める



まちの状態指標	指標の説明または出典元	R5実績	R6実績	R7実績	単位	目指す方向
福祉のサービス等に市民が参加できる（協力できる）まちづくりの福祉ができていないと思う市民の割合	「できている」「どちらかといえばできている」と回答した割合（まちづくり達成度アンケート）	54.8	61.1	63.8	%	
生活保護受給者数	社会福祉課	1,950	1,905	1,865	人	

令和7年度の取組と改善点・評価	令和8年度の現状・課題・取組
<p>・取組内容 生活困窮者自立支援事業及び生きづらさ包括支援事業では、関係者間の顔の見える関係づくりと各事例への連携した対応を深化させることに加えて、今ある地域資源を有効活用して、地域共生社会の実現に向けた地域づくりを進めました。地域支え合い活動や個別避難計画の作成については、自治会、地域住民、関係機関、民生委員・児童委員等と連携して、地域での自主的な取組をより一層推進しました。</p> <p>・改善した点 生活困窮者自立支援事業及び生きづらさ包括支援事業では、各事例の取組みや研修等を通じて、関係者間の顔の見える関係づくりや、多機関の円滑な協働による支援体制の構築が進展しました。また、災害時に特に支援を必要とする方の個別避難計画の作成や、災害時の安否確認体制の構築、避難訓練など、地域と連携した要支援者の災害対策は進んでいきます。</p> <p>・評価 生活困窮者自立支援事業及び生きづらさ包括支援事業では、関係者間の連携による対応は徐々に進展してきていますが、支援者間の関係づくりや支援者の力量を高める研修等は、今後も不断に取り組んでいく必要があります。避難行動要支援者の個別避難計画作成は進んでいましたが、計画により実効性を持たせるため、地域支え合い活動をはじめとする地域での取組を強化する必要があります。</p>	<p>・現状 生活困窮者自立支援事業及び生きづらさ包括支援事業では、各事例への連携した対応に加え、今ある地域資源の活用や新たな地域資源の開発に取り組んでいますが、生きづらさを抱える市民から支援の手が届いていない市民はまだ多く存在しています。地域支え合い活動や個別避難計画の作成についても、地域共生社会の実現に向けて、福祉専門職、自治会、地域住民、関係機関、民生委員・児童委員等と連携して、地域での自主的な取組を推進しています。</p> <p>・課題 生活困窮者自立支援事業及び生きづらさ包括支援事業では、生きづらさを抱える市民に支援を届けるため、引き続き事業の理解の深化と関係づくりに取り組み、連携や取組を強化しなければなりません。また、地域共生社会の実現に向けた地域づくりも進める必要があります。避難行動要支援者の災害対策については、地域BCPの機能強化、個別避難計画の作成を進めるとともに、地域での自主的な取組により、避難支援の実効性を高めることが課題です。</p> <p>・取組内容 生活困窮者自立支援事業及び生きづらさ包括支援事業では、関係者間の連携による支援に加え、定例会議や研修等を通じて、事業の理解の深化・定着や、支援者間の関係づくりに引き続き取り組んでいきます。避難行動要支援者の災害対策については、地域の福祉専門職、自治会、民生委員・児童委員等の関係者と連携して、個別避難計画の作成や避難訓練、安否確認の体制構築、地域BCPの機能強化などに取り組み、地域の防災力を高めていきます。</p>

地域福祉の推進

福祉会館整備事業	市民の健康と福祉の増進を図るため、地域福祉活動の拠点としての福祉会館の改修を行います。								
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源	
社会福祉課	21,843		22,441		11,875	4,816	0	4,816	
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標			R6実績	R7実績	R8目標
改修工事件数(件)	4	8	1	福祉会館延べ利用人数(人)			286,538	283,055	286,000
令和7年度の取組と改善点・評価					令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容 江戸川福祉会館の屋上防水及び外壁塗装改修工事、駒木台・野々下・東深井福祉会館コンドミナー更新工事、西深井福祉会館雨樋改修工事、下花輪福祉会館ミストサウナ更新工事等の8件の工事を実施しました。</p> <p>・改善した点 計画的に工事を進め、利用者が快適に施設を利用できるよう配慮しました。</p> <p>・評価 年度当初に予定していた工事3件に加え5件の工事を実施し、利用者の利便性向上を図りました。</p>					<p>・現状 特殊建築物の定期報告調査の結果に基づき、必要な修繕及び工事を実施するよう取り組みます。</p> <p>・課題 計画的に工事を進め、利用者が快適に施設を利用できるよう配慮します。</p> <p>・取組内容 駒木台福祉会館大広間建具改修工事を実施します。</p>				

地域福祉の推進

民生委員児童委員活動推進事業	地域住民の身近な相談相手となり、支援を必要とする住民と行政等の専門機関をつなぐパイプ役を努める民生委員・児童委員の活動を推進します。								
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源	
社会福祉課	11,513		10,605		4,618	17,401	3,155	14,246	
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標			R6実績	R7実績	R8目標
民生委員・児童委員委嘱者数(12月1日時点)(人)	179	167	180						
令和7年度の取組と改善点・評価					令和8年度の現状・課題・取組				
<p>・取組内容 流山市民生委員児童委員協議会と連携しながら、民生委員・児童委員の活動を推進しました。</p> <p>・改善した点 12月1日の3年に1度の一斉改選に向けて、市ホームページや広報ながれやま、福祉関係研修会等での説明を行い、なり手の確保に努めました。</p> <p>・評価 広報ながれやまを見て、民生委員・児童委員になってみたい旨の問い合わせが14件あり、4名が新たに委嘱されました。</p>					<p>・現状 流山市民生委員児童委員協議会と連携しながら、民生委員・児童委員の活動を推進します。</p> <p>・課題 本市だけでなく、全国的に民生委員・児童委員のなり手が不足しています。</p> <p>・取組内容 民生委員・児童委員にタブレットを貸与し、事務負担の軽減を図り、担い手確保につなげます。</p>				

地域福祉の推進

地域支え合い活動推進事業	孤立死防止と災害時の支援のために、地域における日常からの支え合い・見守りを推進します。災害時に特に支援を必要とする要配慮者について個別避難計画の作成を推進します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
福祉政策課	13,208		18,877		13,194	13,563	4,750	8,813
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
支え合い活動対象者名簿登載者数(人)	14,471	14,410	15,000	地域支え合い活動協力自治会等数(件)		126	132	133
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 自治会、地域住民、関係機関、民生委員・児童委員等と連携して、地域での自主的な取組をより一層推進しました。				・現状 避難行動要支援者の災害対策について、個別避難計画の作成や医療的ケア児の避難訓練、地域BCPの策定など、一定の進捗がみられます。				
・改善した点 災害時に特に支援を必要とする方の個別避難計画の作成が進んだほか、医療的ケア児の避難訓練や福祉専門職との協定など、避難行動要支援者の災害対策が進捗しました。				・課題 個別避難計画の作成を進めるとともに、その実効性を高めるため、要支援者の避難訓練や、安否確認体制の構築を進めていく必要があります。				
・評価 福祉専門職と連携しての個別避難計画の作成や医療的ケア児の避難訓練、地域BCPの策定など、要支援者の災害対策が進捗しました。				・取組内容 医療的ケア児・者の避難訓練、高齢者や障害者の安否確認体制の構築など、要支援者の災害対策を一層進めます。				

地域福祉の推進

重層的支援体制整備事業	既存の制度の狭間あるいは複雑化・複合化した課題を抱える市民に支援を届けるため、生きづらさ包括支援事業(重層的支援体制整備事業)を実施します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
福祉政策課	36,953		36,584		19,791	41,342	24,150	17,192
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
「新たな機能」で取り扱った相談件数(件)	101	294	300	「新たな機能」で状況改善がみられた件数(件)		49	44	45
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 支援会議や重層的支援会議を通じ、引き続き、支援関係者間の顔の見える関係づくりを進め、緊密な連携により各事例への適切な受止めや支援を円滑に行いました。また、地域資源を有効活用し、地域共生社会の実現へ向けた地域づくりを進めました。				・現状 支援関係者間の連携による支援や地域資源の整理・開発・活用は徐々に進展しています。しかしながら、まだ適切な支援の手が届いていない生きづらさを抱える市民は多く見られます。				
・改善した点 各事例に応じて、関係する支援機関等で円滑に連携を取り、適切な支援体制を構築できるようになりました。				・課題 支援関係者間の連携をさらに深めて、より円滑な支援体制の構築を進める必要があります。また、ひきこもり等の生きづらさを抱える市民の支援ニーズを掘り起こし、地域資源の活用等により伴走型支援に取り組む必要があります。				
・評価 支援関係者間の顔の見える関係づくりや円滑な連携、支援体制の構築は進んでいますが、引き続き市民を含めて事業の理解の浸透を図り、支援ニーズの掘り起こしを進める必要があります。また、居場所カフェなど新たな地域資源の開発も進んできました。				・取組内容 引き続き、支援関係者間の関係づくりや連携の円滑化、地域資源の活用に取り組むとともに、ひきこもり支援等の課題にも取り組んでいきます。また、支援ニーズの掘り起こしや地域資源の一層の充足等のため、各事業のより一体的な実施を図ります。				

生活困窮者支援

生活困窮者自立支援事業	生活困窮者を対象に、自立に向けた包括的・継続的な支援を行います。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
社会福祉課	46,506		46,172		5,278	47,225	28,791	18,434
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
自立支援相談件数(件)	169	213	191	プラン作成件数(件)		9	18	14
住居確保給付金支給件数(件)	4	8	6					
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 関係機関と連携を図りながら、自立に向けた継続的な支援を行いました。				・現状 支援が必要な方の状況を把握し、それぞれの課題を分析して、自立に必要な支援を行っています。				
・改善した点 生活困窮者の状況が様々であるため、個々の状況を把握したうえで、その状況に応じた支援を行いました。				・課題 高齢者や精神的な疾病や障害をもつ方の相談が増え、支援の長期化や複雑さなどが課題となっています。				
・評価 自立に向けた包括的・継続的な支援を行い、生活困窮者の更なる把握及び解決に努めました。				・取組内容 関係機関と連携を図りながら、生活困窮者の深刻化を予防すると共に、それぞれが抱える課題を乗り越え、自立に向けた継続的な支援を行います。				

生活困窮者支援								
生活保護法等に基づく扶助事業		生活保護受給者に各種扶助（生活・教育・住宅・医療・介護・出産・生業・葬祭）を適正に実施します。また、就労支援を始めとする自立支援プログラムの充実やハローワークとの連携により、保護受給者の経済的自立の支援を図ります。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
社会福祉課	3,511,988		3,417,134		155,764	3,511,988	2,688,824	823,164
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
生活保護受給者数(人)	1,905	1,865	1,900	保護率(%)		0.89	0.86	0.88
自立支援プログラム相談回数(被保護者就労支援事業分)(回)	170	94	97	自立支援プログラム利用後、就労に至った人数(人)		4	0	2
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 早期に適切な就労支援を行うことにより、自立の可能性が見込める方は、ハローワークと提携し就労支援プラン策定等の支援を行いました。また就労するにあたりサポートが必要な方には就労支援プログラムの活用を通して、保護受給者の経済的自立の支援を図りました。				・現状 就労支援については、月2回のハローワーク提携事業と週2回の就労支援プログラムを実施しています。				
・改善した点 受給者とのコミュニケーションを通じて信頼関係を構築し、自立や就労への意欲を高めました。				・課題 就労阻害要因の見当たらない稼働年齢層にあたる者について、就労支援にいかにつなげるかが課題となっています。				
・評価 雇用や自立に至らなかった方への相談後のケアについても、カウンセリングを中心に生活リズムの確率や心身の健康の安定を図りつつ就労相談を継続して実施しました。				・取組内容 援助方針に沿ったケースワークを通して受給者の経済的自立の支援を行い、就労支援につなげることができないか検討していきます。				

生活困窮者支援								
被保護者健康管理支援事業		生活保護法に基づき、生活保護受給者へ経済的自立のみならず、医療と生活の両面から支援を行います。被保護者の生活習慣病等の予防や重症化を予防するため、レセプトデータを活用し、分析、健康課題を整理し、翌年度は、作成した資料を基に、個別支援計画を策定し、対象者への保健指導、生活支援を個別に実施します。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
社会福祉課	0		0		660	1,760	1,320	440
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
健診受診勧奨(人)	1,451	1,378	1,420	検診受診者数(人)		116	130	134
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 令和6年度の検診未受診者に対する受診勧奨を行いました。糖尿病性腎症重症化予防対象者から一部を選出し、保健師、管理栄養士、歯科衛生士による個別支援を実施しました。				・現状 健康状態が確認できた被保護者に対して、保健師とケースワーカーが協力して、継続的に生活習慣病の改善を行っています。				
・改善した点 対象者全体に対する受診勧奨のほか、個別ケースに対する支援を実施しました。				・課題 長期的な支援が必要となっています。				
・評価 個別ケースへのアプローチを積極的に行いました。口腔環境の改善による血糖コントロール支援として、歯科衛生士の訪問が有効でした。				・取組内容 対象者に対して受診勧奨のチラシを送付するほか、分析データからハイリスクと思われる40～60歳の被保護者に対し検診予診票を送付することを予定しています。令和7年度に引き続き、糖尿病性腎症重症化予防指導者、受診中断者に対する訪問指導を行います。				

生活困窮者支援								
低所得世帯省エネエアコン購入支援事業		エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けている、稼働するエアコンが1台もない低所得世帯及び生活保護世帯に対し、省エネエアコンの購入費用等に助成金を交付し、熱中症等の事故を未然に防ぐこと及び高騰している電気料金の負担軽減等生活支援を目的とします。						
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
社会福祉課	375		765		1,980	800	0	800
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
				支給件数(件)		8	17	8
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 低所得世帯等に対し、省エネエアコンの購入費等に助成金を交付し、熱中症等の予防に取り組みました。				・現状 昨年度に引き続き、低所得世帯等に対し、省エネエアコンの購入費等に助成金を交付し、熱中症等の予防に取り組みます。				
・改善した点 今年度は特に改善した点はありませんでしたが、今後も必要に応じた見直しを行います。				・課題 支給決定したものの、自己負担が多くてエアコンを購入していない世帯があります。				
・評価 当初予算上10件を想定していましたが、17件に支給し熱中症等の予防に取り組みました。				・取組内容 熱中症の事故を未然に防ぐ観点から、自己負担が多くて購入を断念せざるを得ないということがないように助成額を45,000円から100,000円に増額をします。				

主管部局 総合政策部 施策の目的 すべての市民が国籍や性別などにかかわらず、互いの人権を尊重し合える社会をつくる



Table with 7 columns: まちの状態指標, 指標の説明または出典元, R5実績, R6実績, R7実績, 単位, 目指す方向. Rows include '国籍や性別等にかかわらず平等に扱われていると思う市民の割合' and '外国人の人口'.

Table with 2 columns: 令和7年度の取組と改善点・評価, 令和8年度の現状・課題・取組. Includes sections for '取組内容', '改善した点', and '評価'.

人権尊重・男女共同参画の社会づくり

Table for '人権啓発活動活性化事業'. Includes '人権啓発活動活性化事業' description, '担当課', 'R7当初予算', 'R7決算見込', 'R7職員給与費(目安)', 'R8当初予算', 'R8特定財源', 'R8一般財源', and '主な活動指標'.

人権尊重・男女共同参画の社会づくり

Table for '男女共同参画社会づくり事業'. Includes '男女共同参画社会づくり事業' description, '担当課', 'R7当初予算', 'R7決算見込', 'R7職員給与費(目安)', 'R8当初予算', 'R8特定財源', 'R8一般財源', and '主な活動指標'.

多文化共生社会づくり

多文化共生推進事業	多文化共生社会の実現を目指し、在住外国人が安心して暮らせるように相談窓口を設置するとともに、多文化共生意識の醸成を図るための講座を実施します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
企画政策課	1,687		1,653		3,299	0	0	0
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
国際理解サポートセンターへの相談件数(件)	78	79	85	国籍や性別等にかかわらず平等に扱われていると思う市民の割合(%)		84.6	88.4	90.0
国際交流に関する啓発イベントや講座の実施回数(回)	4	4	4					
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 在住外国人に寄り添った相談を行うことができるよう、流山市国際理解サポートセンター運営業務の受託者である流山市国際交流協会と連携しました。外国の生活や文化を理解し、身近に感じることができる講座を実施したほか、「やさしい日本語」の普及を促進する取組を継続しました。				・現状 令和8年4月1日現在、在住外国人は4,696人で、人口の約2.1%を占めており、在住外国人が増加傾向にあります。流山市国際理解サポートセンターへの相談件数も、増加傾向にあります。				
・改善した点 「やさしい日本語」の普及をさらに促進するため、やさしい日本語ポスター展を複数箇所(おおたかの森センター及び森の図書館)で実施したほか、「やさしい日本語講座」では、災害時に外国人が直面する課題と支援者に求められる役割などをテーマとした講話などを実施しました。				・課題 市民が外国人住民に親しみを持ち、多文化共生を意識できる取組を実施する必要があります。市が情報を発信する際に使用してほしい言語として、「やさしい日本語」を選ぶ在住外国人も多いことから、引き続き「やさしい日本語」の普及を促進する必要があります。				
・評価 国際理解サポートセンターでは、生活関連や公的手続などの様々な相談に対し、寄り添った対応を行いました。共理解促進講座として、世界の料理教室(韓国編)を実施し、参加者からは「楽しく文化を知る機会になった。」などの好意的な声をいただきました。				・取組内容 在住外国人に寄り添った相談ができるよう、流山市国際理解サポートセンター運営業務の受託者である流山市国際交流協会と連携します。外国の生活や文化を理解し、身近に感じることができる講座を実施するほか、「やさしい日本語」の普及を促進する取組を実施します。				

平和施策の推進

平和施策事業	平和都市宣言に基づき、次世代に平和への想いを繋ぐための活動として、平和大使事業、平和ポスター展、ユニセフ平和教室、千羽鶴の募集などの事業を実施します。							
担当課	R7当初予算		R7決算見込		R7職員給与費(目安)	R8当初予算	R8特定財源	R8一般財源
企画政策課	2,326		2,108		3,299	3,498	3,109	389
主な活動指標	R6実績	R7実績	R8目標(予定)	主な成果指標		R6実績	R7実績	R8目標
平和ポスター展及びユニセフ平和教室の実施回数(回)	4	4	5	平和施策に関するホームページの閲覧数(回)		939	2,830	3,000
令和7年度の取組と改善点・評価				令和8年度の現状・課題・取組				
・取組内容 次世代に平和への思いをつなぐため、平和都市宣言に基づき平和大使の広島派遣事業、ユニセフ平和教室等を実施しました。併せて、戦後80年事業として、流山市役所での平和ポスター展は埼玉県東松山市の丸木美術館から原爆の図の複製画を借用し、昨年度より規模を拡大して実施しました。				・現状 若い世代に平和の大切さや思いをつなぐため、平和大使事業や平和ポスター展、ユニセフ平和教室、千羽鶴の募集などに継続的に取り組む必要があります。				
・改善した点 夏に開催した平和ポスター展では規模を拡大し、丸木美術館から「原爆の図」の複製画(第一部～第三部)を借用し、展示を行ったほか、冬の平和ポスター展の会場を増やし、おおたかの森センターと森の図書館で平和ポスター展を実施しました。ウクライナ情勢においては、武力衝突が長期化していることを受け、避難民への支援を継続しています。				・課題 戦後80年という節目を過ぎ、改めて平和の大切さについて考え、広める機会の確保が必要です。また、ウクライナ情勢において、武力衝突が長期化する中で、市としてできる平和への取り組みについて引き続き検討を要します。				
・評価 平和大使の広島派遣に参加した児童からは、「今まで保ってきた平和を守るために、自分が学んだことを家族や友達に伝え、平和の大切さを語り継いでいきたい」という意見や、「世界では戦争をしている地域があり、当時の日本と同じ状況が現在でも起こっていることに危機感を感じた」などの意見がありました。				・取組内容 本年度は、より多くの子どもたちが平和について学び、考える機会を得られるよう、平和大使の広島派遣事業の定員を48人に広げます。また、平和学習への講師派遣などを通じ、さらに多くの子どもたちが平和について考える機会を得られるよう取り組んでいきます。				